

無機質浸透性防水材

# エレホン #100

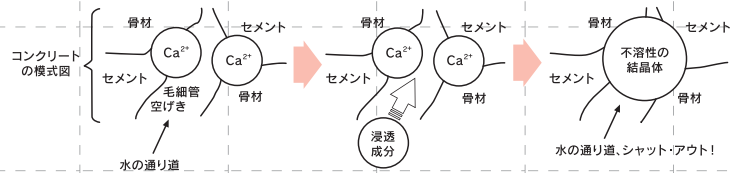
エレホン・#100は、無機質浸透成分を配合した防水材です。一般的なポリマーセメントモルタル防水材は、セメントモルタルにエマルジョンを組み合わせて防水性を向上させますが、エレホン・#100は、EVAタイプエマルジョンの成膜により得られる防水性だけでなく、無機質浸透成分配合による毛細管空けき閉塞効果で、防水性能を向上させました。

## 特長

- ▶ **利便性** 手軽に、すばやく、手間取らず、土木構造物を防水できます。一般的な防水塗料に比べて、経済的。  
手 軽…… 施工は、粉体と混和液に水を加えるだけ。  
すばやく…… ハンドミキサーで混ぜるだけ。  
手間取らず…… 調整した下地に水打ちし、コテ用はコテで1回、ハケ用はハケで2回塗るだけ。
- ▶ **防水性** #100に配合している浸透成分の作用やエレホン・シーラーを混ぜることで、高い防水性能が得られます。

## 防水メカニズム

#100をエレホン・シーラーと水で練り混ぜコンクリートに塗布すると、#100に配合した浸透成分であるケイ酸質粉末からケイ酸イオンが溶出し、水を媒体としてコンクリート中に浸透、拡散します。このケイ酸イオンがコンクリート毛細管空けき中に存在する遊離石灰から電離したカルシウムイオンと反応し、不溶性の結晶体であるケイ酸カルシウム水和物を生成させます。生成した不溶性の結晶体が水の通り道である毛細管空けきを充填、緻密化させ、コンクリート自体を防水体へと変化させます。



## 用途

●工業用水槽、ポンプ、ボックスカルバート、防火水槽、地下湧水ピットなどの防水

## 配合及び材料使用量

配合と材料使用量		ハケ塗り用	コテ塗り用
配合	粉体	25kg	25kg
	エレホン・シーラー	2kg	2kg
	水	10~11kg	5~6kg
塗布量		1.6kg/m <sup>2</sup>	2.2kg/m <sup>2</sup>
1セット当たりの施工面積		16.7m <sup>2</sup>	12.5m <sup>2</sup>

### ● 荷姿

- ・粉体 25kg
- ・エレホン・シーラー 2kg



## 施工要領

- ① **下地処理** 必要に応じて、下記の下地処理を行って下さい。
  - ・レイトンス、ノロ、エフロなどは、サンダーで除去。
  - ・巣穴は、固練りの#100をコテやヘラで充填。
  - ・クラックは深さ3~5cm程度Vカット、ジャンカはブレードなどで取り取り、#200などで埋め戻し。広範囲な断面は、フィックスリールズで埋め戻し。
  - ・漏水箇所は#300で止水し、#200で埋め戻し。
- ② **清掃** 施工面の汚れを除去(12MPa以上の高圧水洗推奨)。
- ③ **塗り付け**
  - ・下地が乾燥していれば、十分に水打ちして下さい。
  - ・#100を規定配合比で混合し、ハンドミキサーなどで練り混ぜて下さい。
  - ・練り混ぜた#100をコテ塗り用はコテで1回塗布して下さい。ハケ塗り用はハケで1回塗布後、塗布面が指触乾燥した後2回目を塗布して下さい。(コテ塗り用とハケ塗り用の塗布厚は、いずれも約1mmです。)
  - ・夏期は、粉体の袋の中に添付した遅延剤を使用して施工して下さい。
- ④ **養生** 注水、水がかりまでの養生日数は、夏期で1日以上、冬期で2日以上です。



(#100ハケ用施工)

材 令	圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )※1	接着強さ(N/mm <sup>2</sup> )※1
7日	13.0	1.2
14日	24.1	1.5
28日	28.0	1.7

※1 圧縮強さはJIS A 1171に準拠、接着強さは建研式にて測定。供試体の作製及び養生は、20℃一定環境下で行った。

項 目	プレーンモルタル	#100		
		コテ塗り用	ハケ塗り用	
透水量※2 (g)	1回	88.4	7.5	9.0
	2回	87.6	7.9	8.2
	3回	90.8	7.9	8.4
	平均	88.9	7.7	8.5
透 水 比		100.0	8.7	9.6

※2 透水量はJIS A 1404に準拠し、試験水圧は0.3MPa/1hr。

注)上記表は当社実験室で試験を行った結果であり、品質保障値ではありません。

● 注 意 事 項

- ・ご使用に際してはMSDS(製品安全データシート)をよく読んで下さい。
- ・飲料水等浄水施設用としては対応してません。
- ・本製品は、コンクリート用防水材です。石組みの池等に施工すると、防水性が得られない場合があります。
- ・本製品は、亀裂に対する追従性がありません。構造的なクラックが存在するコンクリート躯体には、亀裂に対して追従性がある防水材の使用をお奨めします。
- ・製品は直射日光、湿気を避けて5~35℃で保管して下さい。
- ・#100は、コテ塗り用とハケ塗り用の2種類をラインナップしています。施工に応じて選択して下さい。
- ・#100のハケ塗り用は、コテ塗り用に比べて骨材を細かくしています。防水性能は、コテ塗り用とハケ塗り用ともに同じです。
- ・#100は冬用と夏用があり、その使用期間の目安は、冬用が10月~翌年4月、夏用が4月~10月です。
- ・エレホン・シーラー以外の樹脂は使用しないで下さい。
- ・練り水は、水道水水質同等のものを使用して下さい。不純物が硬化時間等に影響を与える場合があります。
- ・練り水は、規定水量を超えて過剰に加えないで下さい。(物性が低下します)
- ・一度練った材料の練り返しは絶対にしないで下さい。(物性が低下します)
- ・結露が生じる場合は、施工終了後も換気装置を運転して下さい。
- ・高温時は硬化遅延剤や、状況により冷水の使用を検討して下さい。
- ・魚類など水生生物を放つコンクリート槽に施工する場合、養生後に十分なあく抜きを行って下さい。供用する前にはリトマス試験紙などでpHが中性であることを確認して下さい。
- ・低温時は凍害の恐れがありますので採暖やシート養生を行って下さい。
- ・長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行って下さい。
- ・目に入った場合は直ちに水で数分間注意深く洗い、眼科医の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合は多量の水と石鹸で洗浄し、湿疹や炎症の兆候が見られる場合は医師の治療を受けて下さい。
- ・閉所で使用する場合は換気を十分に行って下さい。
- ・廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

● 本資料について

- ・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

- 既存下地・施工環境・気候とさまざまな施工上の問題がありますので、使用の際は当社営業担当へご相談下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社  
EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

- |                 |           |                     |                    |                    |
|-----------------|-----------|---------------------|--------------------|--------------------|
| ● 本 社 ・ 工 場     | 〒870-0141 | 大分県大分市三川新町1-2-23    | TEL (097) 552-2251 | FAX (097) 552-2213 |
| ● い わ き 工 場     | 〒979-3112 | 福島県いわき市小川町上平字中平30-3 | TEL (0246) 83-2600 | FAX (0246) 83-2677 |
| ● 大 阪 支 店       | 〒564-0063 | 大阪府吹田市江坂町2-12-50    | TEL (06) 6388-6585 | FAX (06) 6388-6561 |
| ● 福 岡 支 店       | 〒814-0151 | 福岡県福岡市城南区堤1-9-10    | TEL (092) 874-6990 | FAX (092) 862-6398 |
| ● 関 東 ・ 東 支 店   | 〒340-0055 | 埼玉県草加市清門町2-4-8-3    | TEL (048) 951-1987 | FAX (048) 951-1988 |
| ● 仙 台 支 店       | 〒984-0012 | 宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2  | TEL (022) 287-7221 | FAX (022) 287-7222 |
| ● 名 古 屋 支 店     | 〒463-0048 | 愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21  | TEL (052) 758-1889 | FAX (052) 758-1890 |
| ● 札 幌 営 業 所     | 〒007-0805 | 北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32 | TEL (011) 786-6051 | FAX (011) 786-6052 |
| ● 盛 岡 営 業 所     | 〒020-0838 | 岩手県盛岡市津志田中央3-6-11   | TEL (019) 681-9531 | FAX (019) 681-9532 |
| ● 新 潟 営 業 所     | 〒950-0925 | 新潟県新潟市中央区弁天橋通3-1-31 | TEL (025) 286-6260 | FAX (025) 286-6263 |
| ● 関 東 ・ 北 営 業 所 | 〒320-0056 | 栃木県宇都宮市戸祭2-5-5      | TEL (028) 680-6313 | FAX (028) 680-6323 |
| ● 関 東 ・ 西 営 業 所 | 〒224-0064 | 神奈川県横浜市都筑区平台19-24   | TEL (045) 306-6200 | FAX (045) 949-2015 |
| ● 北 陸 営 業 所     | 〒920-0027 | 石川県金沢市駅西新町2-11-25   | TEL (076) 204-9417 | FAX (076) 204-9418 |
| ● 神 戸 営 業 所     | 〒652-0032 | 兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-75-1  | TEL (078) 599-6630 | FAX (078) 599-6631 |
| ● 広 島 営 業 所     | 〒739-1731 | 広島県広島市安佐北区落合2-41-22 | TEL (082) 841-2350 | FAX (082) 841-2360 |
| ● 北 九 州 営 業 所   | 〒807-0801 | 福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1 | TEL (093) 616-8470 | FAX (093) 616-8471 |
| ● 熊 本 営 業 所     | 〒861-8045 | 熊本県熊本市東区小山2-14-47   | TEL 050-3399-7419  | FAX (096) 388-6227 |
| ● 鹿 児 島 営 業 所   | 〒890-0082 | 鹿児島県鹿児島市紫原1-5-1-25  | TEL (099) 284-0533 | FAX (099) 284-0535 |
| ● ㈱エレホン・技研本社    | 〒781-0270 | 高知県高知市長浜1 9-3       | TEL (088) 805-2332 | FAX (088) 841-2322 |
| ● ㈱エレホン・技研松山営業所 | 〒791-8042 | 愛媛県松山市南吉田町1408-1    | TEL (089) 974-8225 | FAX (089) 974-8230 |